

日本光学会第 167 回幹事会議事録

日 時： 2002 年 9 月 13 日（金） 13：30～19：20

場 所： 機械振興会館地下 3 階，B3-1 号室

出席者： 山本幹事長，以下 32 名

議 題：

1. 前回常任幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問はなく，議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・第 31 巻第 4 号は CD-ROM の配布で請求額が高くなった。
- ・編集委員の選考規定，執筆要項を検討していく予定である。
- ・編集委員の所属機関によっては委員会資料が外部公開の対象となる，との報告がなされた。諸機関からの申し入れがあった時点で，対応策を検討することとした。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・順調に発行している。

2-2. 講演会関連報告

(1) ODF 2002 の進捗報告

- ・順調に準備が進み，プログラムや予算案が確定した。

(2) サマーセミナー結果報告

- ・30 名が参加し，当初の見込みよりは少なかった。
- ・アンケートの結果，ナイトセッションが好評であった。

(3) Optics Japan 2002 進捗報告

- ・プログラムが決定し，オーサーズインタビュー，ラウンジデモ，ポストデッドライン等，新しい企画を組み込み順調に進捗している。
- ・レーザーポインターとネームタグの補充を日本光学会として購入することが承認された。

(4) カラーフォーラム JAPAN 2002 進捗報告

- ・プログラムが決定した。

(5) 平成 14 年度関西講演会進捗報告

- ・順調に進捗している。

(6) 第 36 回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・順調に進捗している。

(7) 第 29 回冬期講習会進捗報告

- ・プログラムが決定した。
- ・昨年の実績に従った予算書を作成し，順調に進捗している。

(8) 平成 14 年度名古屋講演会進捗報告

- ・2 月上旬に予定し，順調に進捗している。

(9) 光学シンポジウムの決算書について

- ・参加者が多かったこと，会場費が安かったことで黒字となった。

(10) 応物資金 21 に関する通知について

- ・教育活動等の資金源となっている応物資金 21 について紹介があった。

2-3. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・9 件の協賛依頼があり，すべて承認した。

(2) 会員動静

- ・微減した。

(3) OPTICAL REVIEW 出版委員会報告

- ・OR の電子化を検討しているが，Springer との契約上の問題がそれを遅らせている。
- ・Springer とは海外頒布に関し契約を行ったが，現状では大きな実績はない。また，契約上，不利益な部分が多く，Springer との契約を見直す方向で検討している。
- ・OR への投稿が増えるよう投稿料を安くする等の対策が必要，との報告がされた。

(4) 国立科学博物館展示について

- ・照明学会等の支援となり，光学会としての関与はなくなった。

(5) 日本光学会の ICO 加盟の経緯について

- ・ICO に加盟できなかったことが報告された。

(6) 光学五学会関西支部のホームページの件

- ・当面は現状どおりとなった。

(7) 関西地区非公式幹事の件

- ・「日本光学会地方幹事」として野村孝徳先生（和歌山大）に依頼することとした。

(8) 応用物理学会の代議員推薦の件

- ・谷田純先生（阪大），丸山晃一氏（ペンタックス）に依頼することとした。

(9) 環境整備委員会について

- ・将来計画委員会の答申を受け，第 166 回幹事会で幹事長の諮問委員会として設置された専門委員会（仮称：環境整備委員会）の委員を岩田前幹事長，山口元幹事長，および志村将来計画委員長に依頼することとした。

(10) 産学協力推進委員会について

- ・第 1 回常任幹事会で設置を承認された産学協力推進検討

に関する幹事長諮問委員会（産学協力推進検討委員会）の委員を矢島弘義先生（農工大）、南節雄氏（元キヤノン）、大津元一先生（東工大）に依頼することとした。

3. 審議事項

(1) 予算審議

- ・ORの会員投稿料減額，OR電子出版分，ホームページ管理費の増額を含む平成15年度予算案が報告され，承認された。
- ・光学資料室移転に伴い，賃貸料を減額することとした。
- ・事務局設置のための項目を追加することとした。

(2) IPAPとの覚書とOR出版について

- ・ORの電子化，海外での著作権問題を解決できるよう，Springerとの契約をいったん停止，または改定することが承認された。
- ・ORの二次利用についてIPAPと覚書をかわすことが承認された。
- ・ORに関し，今後他学会との連携も検討することとした。
- ・投稿料の値下げを，会計上の問題を含め，検討することとなった。

(3) 光学資料室移設について

- ・事務業務の効率化，管理業務の利便性，賃貸料減額の理由により，移設することが承認された。

(4) Photonics Asiaへの協賛について

- ・昨年度国際協力担当幹事である高橋信明先生（防衛大）をPhotonics Asiaへの代表者とする事が承認された。

(5) 次回光学シンポジウムの企画案

- ・テーマは昨年と同様とする企画（案）が承認された。

(6) 光学シンポジウム予稿原稿転載許可申請

- ・光学シンポジウムの予稿を社内報に転載したいとの申請があり，光学シンポジウムの予稿であることを明記した上で，転載が許可された。

(7) 2003年のICOSNについて

- ・2003年ICOSNは開催されないので，光ナノテクフェア2003での展示の可否を石井行弘幹事（国際担当）を窓口にして日本光学測定器工業会と折衝することにした。

(8) 将来計画委員会の委員について

- ・メンバー（案）が出され，承認された。

(9) Optics Japanの今後のあり方について

- ・応用物理学会とOJの役割が明確でないので問題が生じる場合があり，OJとしての特色を出す必要がある。OJの廃止，検討のため見送り，との選択肢も出されたが，来年度は引き続き開催することとなった。
- ・OJの長期的な企画運営方法を将来問題検討委員会等で

検討することとなった。

(10) 幹事長任期について

- ・日本光学会規則と役員選挙その他に関する内規の間で，幹事長任期中の選挙に関し矛盾があるが，本年度は内規どおり幹事長任期中にも幹事選挙に立つこととなった。

(11) 次期幹事案（幹事会推薦候補）について

- ・平成15年度幹事選挙に関する基本的考え方（方針案）が承認された。
- ・幹事選挙に関する議論をさらに深める必要があること，投票方法，地方幹事，OJ担当幹事等の被推薦者（案）にまだ未確定な部分があることなどを考慮し，10月11日（金）に臨時幹事会を開き検討することとなった。

日本光学会第167回幹事会・臨時幹事会議事録

日時：2002年10月11日（金）13:30～17:30

場所：応用物理学会，新会議室

出席者：山本幹事長，他17名

議題：

1. 報告事項

(1) ナノテクノロジー情報の提供（文科省）

- ・応用物理学会からナノテクに関係している研究室の紹介依頼があった。

(2) 応用物理学会分科会・研究会代表者会議の報告

- ・日本光学会会員のうち，19名が2年間会費を滞納している。このまま未納の場合，退会となる。

2. 審議事項

(1) 名古屋講演会について

- ・12月4日に岡崎市国立共同研究機構分子科学研究所において開催することが決定した。
- ・講演タイトルが決まり次第，会員宛てにメールで案内を出すことが承認された。

(2) 来年度のOJ実行委員長について

- ・実行委員長を大坪順次先生（静岡大）に依頼することが承認された。
- ・来年度のOJについては，検討委員会からの答申をうけて展開することとした。
- ・大坪先生より，静岡の企業，大学をあげてOJを開催するとの挨拶があった。

(3) 次期幹事案（幹事会推薦候補）について

- ・平成15年度幹事選挙の経緯（諮問会議の開催など）について幹事長より説明があった。
- ・2004年カラーフォーラムJAPANの実行委員長候補として視覚研究グループから幹事の推薦があり，その候補者を幹事会推薦とすることとした。

- ・ICO 2004 の担当幹事，産学推進検討委員会担当を新たに設置し，合計 22 名を改選数（定員）とすることが承認された。
- ・幹事長案による改選枠（定員）と同数の 22 名（企業推薦者を含む）を幹事会推薦とすることが承認された。
- ・一般会員から推薦された候補者については，幹事長から本人に選挙に立つ意思の確認を行い，意思のある者を候補者とする事とした。
- ・投票用紙には，幹事会信任の欄を設けることとした。さらに，候補者を 50 音順に掲載（幹事会推薦か一般推薦かを付記）し，定員枠 22 名以内を個別に選んで投票することもできる形式とすることが承認された。
- ・幹事会がどのように推薦者を選定したかを広く公表するため，ホームページに平成 15 年幹事選考に関する基本的考え方を掲載することとした。
- ・選挙の案内，投票用紙については，修正を加え，幹事長に一任することとした。

(4) 光学資料室移転について

- ・資料室の移転に伴い，新たに薄型の棚を購入することが承認された。

(5) Optics Japan のあり方検討 WG 設置の提案

- ・WG のメンバーが承認された。

次回幹事会は 1 月 10 日（金） 13：30～ 機械振興会館

平成 14 年度第 2 回常任幹事会

2002 年 11 月 15 日（金）に应用物理学会新資料室において開催されました。「光学」，「OR」の編集委員会報告，Optics Japan 2002，サマーセミナー，平成 14 年度名古屋講演会，平成 14 年度北陸信越講演会，冬期講習会，光学シンポジウム等の講演会関連の報告および審議，協賛依頼，会員動静，光学論文賞進捗，「OR」出版委員会 Springer Verlag との交渉経過および投稿料値下げ，新資料室の利用法，資料室・事務局問題の対策小委員会設置，将来計画委員会中間状況，選挙の開票取り決め，来年度以降の幹事選挙方針等について報告，審議がなされました。なお，詳しい幹事会議事録は第 32 巻 3 号に掲載予定です。

第 206 回「光学」編集委員会

2002 年 11 月 14 日（木）に，（財）日本学会事務センター学会共同編集室において開催されました。第 32 巻 7～8 号企画，第 32 巻 9～12 号構想案，第 33 巻 4 号執筆者構想案について審議が行われました。また，臨時編集委員会で議論された，光委員会による企画記事執筆者への掲載誌進呈，執筆要項，「教育」分野の創設，原著論文の審

査基準について報告がなされました。そのほか，第 31 巻第 11 号の発行遅延，各号進捗状況，論文投稿・審査状況，会計，幹事会等について報告がなされました。

日本光学会資料室移転のお知らせ

去る 2002 年 11 月 6 日をもちましてこれまで 2 年半使用してまいりました日本光学会資料室を高橋ビル 5 階から応用物理学会事務局と同じ井門九段北ビルに移転しましたのでお知らせします。なお，新資料室の有効な活用と利用基準につきましては常任幹事会のもとに小委員会を設置して検討を開始しました。くわしくは日本光学会ホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>) に掲載される予定です。新資料室の入居先（応用物理学会新会議室と同フロア）：
〒 102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-3 井門九段北ビル 6 階（地図は <http://www.jsap.or.jp/obutsu/contact.html#address> を参照ください）。

第 16 回光ファイバセンサ国際会議（OFS-16）

日 時： 2003 年 10 月 13 日～17 日

場 所： 奈良県新公会堂（奈良県，奈良市）

共 催： 電子情報通信学会エレクトロニクスサイエティ（主格），応用物理学会，電気学会，計測自動制御学会
技術共催： 光産業技術振興協会，日本光学会，日本オプトメカトロニクス協会，レーザー学会，IEEE/LEOS, OSA, AOS（オーストラリア光学会），SPIE, EOS, IOP（イギリス物理学会），OSK（韓国光学会），COS（中国光学会） ※依頼中含む

協 賛：（財）電気・電子情報学術振興財団

ワークショップ： 本会議の前日 10 月 13 日に Half day-Special Workshop を開催します。タイトルは“Photonic network: Flexible systems, key devices and monitoring technologies”です。

講演分野：

1. Physical and Mechanical Sensors
2. Sensors for Electromagnetic Phenomena
3. Chemical, Environmental, Biochemical and Medical Sensors
4. Fiber Optic Gyroscopes
5. Interferometry and Polarimetry
6. Multiplexing and Sensor Networking
7. Distributed Sensing
8. Sensing for Optical Fiber Communication
9. Passive & Active Devices for Photonic Sensing
10. System Applications and Field Tests

11. Smart Structures and Smart Materials

12. New Concept for Photonic Sensing

論文投稿締切り：2003年4月4日（金）

論文投稿要項はホームページ (<http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/OFS-16/>) をご覧ください。

問合せ先：

(財)日本学会事務センター OFS-16 事務局

電話 03-5814-5800 Fax 03-5814-5823

E-mail: ofs2003@bcasj.or.jp

第4回 材料の知的製造及び加工に関する国際会議

主催：IPMM (Intelligent Processing and Manufacturing of Materials)

後援：米国航空研究開発機構アジア支部（東京）、米国防研究機構極東支部（東京）、日本金属学会東北支部（宮城）、宮城県、仙台市、(財)次世代金属・複合材料研究開発協会、(財)金属系材料研究開発センター、(社)日本ロボット工業会、耐火物技術協会、(社)日本化学会、日本コンピューター化学会、(社)日本分析化学会、(社)精密工学会、(社)日本航空宇宙学会、(社)日本鉄鋼協会、(社)日本粉体工業技術協会、(社)粉体粉末冶金協会、無機マテリアル学会、日本ファジィ学会、ナノ学会、日本計算数理工学会、材料技術研究協会、マテリアルライフ学会、傾斜機能材研究会、日本計算機統計学会、(財)機械振興協会、日本光学会（応用物理学会）、(社)応用物理学会、(社)日本金属学会

日時：2003年5月18～23日

場所：仙台エクセル東急ホテルおよびホテル松島大観荘

内容：材料プロセスと製造に関する最新の研究発表と展示会を行う、世界的動向の情報交換を目的とした国際会議。ファジー論理の創始者であるカリフォルニア大学のザデー教授を名誉会長としており、仙台の地下鉄がその理論の最初の大掛かりな実現例であることを

記念して今回の開催となった。その見学会も企画。詳細は、ホームページ(<http://www-lab.imr.tohoku.ac.jp/~ipmm/>)をご覧ください。

キーノート講演者：

1. Lotfi Zadeh 教授（カリフォルニア大、パークレー校）
2. 飯島澄男博士（日本電気(株)）
3. John Maguire 博士（Wright-Patterson, 空軍基地研究機構）
4. 井上明久教授（東北大、金属材料研究所）
5. Heikki Hyotyniemi 教授（ヘルシンキ工科大）

「光学」投稿規定・執筆要項等の改訂のお知らせ

本号には、「光学」に原稿を投稿していただく場合の投稿規定、投稿案内、執筆要項、投稿票が掲載されていますが、現在、編集委員会において改訂作業を進めており、新しいものは今年度内にできあがる予定です。できあがり次第、「光学」および、日本光学会のホームページでお知らせいたしますので、ご了解ください。

寄贈書のお知らせ

Springer-Verlag 社から、以下の3冊の図書が寄贈されました。

J. Ludman, *et al.*: Holography

xii+320 ページ, 156 Figs., 2002年発行, 17,990円
(2002年10月現在)

S. Kawata, *et al.*: Nano-Optics

xvi+322 ページ, 258 Figs., 2002年発行, 12,490円
(2002年11月現在)

P. Boffi *et al.*: Infrared Holography for Optical Communications

x+182 ページ, 90 Figs., 10 Tables, 2003年発行,
23,860円 (2002年11月現在)

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒321-3298 宇都宮市清原工業団地 23-10 キヤノン株式会社光学技術研究所レンズ開発センター
レンズ第1技術開発室 中井武彦 電話 028-667-5711 Fax 028-667-9486 E-mail: nakai.takehiko@canon.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。